

令和8年度新潟大学法学部

第3年次編入学試験問題

専門科目（法学）

- (注意) 1. 4つの設問のうち、2つの設問を選択して
解答すること。
(3つ以上の設問に解答した場合は採点の
対象外とする。)
2. 設問ごとに別の解答用紙に解答すること。

令和8年度新潟大学法学部
第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問 1

立法および司法において感情は必要か、それとも排除すべきか。具体例を挙げながら、論じなさい。

令和8年度新潟大学法学部
第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問2

憲法24条は、婚姻は両性の合意のみに基づいて成立すると規定している。民法750条は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と定め、夫婦が同氏であることを求めている。民法750条が定める夫婦同氏制の憲法適合性について、判例を踏まえて論じなさい。

令和8年度新潟大学法学部 第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問3

*以下の事例を読んで、小問①と小問②の両方について解答しなさい。なお、小問①と小問②は別個の事案とする。

Xは、自己所有のマンション（築50年）の1室（以下、「甲室」とする）を「賃貸借期間2年間、賃料月額10万円、賃料の支払方法は毎月25日にXの銀行口座への自動振込」という条件で、Yに対して賃貸した。

[小問①]

- ・2年の賃貸借期間が満了したが、XからYに対する何らの申入れもなかったため、Yはそのまま甲室に住み続けており、Xの銀行口座への自動振込も継続している。この場合におけるXY間の法律関係について説明しなさい。

[小問②]

- ・Xは、甲室のあるマンションの老朽化（外壁の剥離や給排水管の頻繁な故障など、大規模修繕では対応困難な状態）を懸念し、その建替えを行おうと考えた。そこで、Xは、2年の賃貸借期間が満了する約7か月前に、「Yとの賃貸借契約の更新をしない」旨の通知をYに対して行った。この上で、Xは、2年の賃貸借期間の満了に伴って、Yに対して甲室の明渡しを請求した。これに対して、Yは、これを拒んで、甲室への居住を続けるとともに、逆にXに対して賃貸借契約の更新を求めた。一日も早くマンションの建替えに着手したいXは、「100万円を立退料としてYに支払う」ことを新たに申し入れた。XによるYに対する甲室の明渡し請求の可否について論じなさい。

令和8年度新潟大学法学部
第3年次編入学 試験問題

科目名 法 学

設問 4

次の文章を読み X の罪責を論じなさい。

X は、犯行前日の午後 4 時 30 分頃、知人の A に自宅（マンション 6 階）の玄関扉を消火器で何度も叩かれ、その頃から翌日の午前 3 時頃までの間、繰り返し電話で怒鳴られるなど、身に覚えのない因縁を付けられ、立腹していた。

同日午前 4 時 2 分頃、自宅にいた X は、A から、マンションの前に来ているから降りてくるようにと電話で呼び出されて、自宅にあった包丁にタオルを巻き、それをズボンの腰部右後ろに差し挟んで、自宅マンション前の路上に赴いた。X を見つけた A がハンマーを持って X の方に駆け寄って来たが、X は、A に包丁を示すなどの威嚇的行動を取ることなく、A に近づき、ハンマーで殴りかかって来た A の攻撃を防ぎながら、包丁を取り出し、殺意をもって A の胸部を包丁で 1 回強く突き刺して殺害した。